

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2013-57821(P2013-57821A)  
 【公開日】平成25年3月28日(2013.3.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-015  
 【出願番号】特願2011-196383(P2011-196383)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 15/00 5 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月2日(2014.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項3の発明は、前記装置本体に設けられ、前記第2回転位置において前記連結部材を前記反対方向へ付勢する付勢部材と、前記装置本体に対して着脱可能に設けられ、前記転写体から除去された現像剤を収容する収容容器と、を備え、前記連結部材は、前記収容容器の前記装置本体への装着により、前記第2回転位置において前記接離機構に対して退避した退避位置から前記接離機構に対する連結位置へ前記付勢部材の付勢力に対抗して押される請求項1又は2に記載の画像形成装置である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

装置本体に回転可能に設けられ、画像を保持する像保持体と、  
 前記像保持体の回転軸方向と直交する直交方向へ取り外し可能に前記装置本体に設けられ、前記像保持体が保持する画像が転写される転写体と、  
 前記転写体に設けられ、前記転写体を前記像保持体に対して接離させる接離機構と、  
 前記装置本体に設けられ、前記接離機構に対して前記像保持体の回転軸方向に沿って連結され、前記接離機構に対する連結状態で第1回転位置へ正転されると前記接離機構が前記転写体を前記像保持体に接触させ、当該連結状態で前記第1回転位置から第2回転位置へ逆転されると前記接離機構が前記転写体を前記像保持体から離間させ、前記第2回転位置において前記接離機構に対する連結方向とは反対方向へ前記転写体の取り外しを許容するように退避可能な連結部材と、  
 を備える画像形成装置。

【請求項2】

前記連結部材は、前記第2回転位置において前記反対方向へ退避した状態において、前記第1回転位置への回転が規制される請求項1に記載の画像形成装置。

**【請求項 3】**

前記装置本体に設けられ、前記第 2 回転位置において前記連結部材を前記反方向へ付勢する付勢部材と、

前記装置本体に対して着脱可能に設けられ、前記転写体から除去された現像剤を収容する収容容器と、

を備え、

前記連結部材は、前記収容容器の前記装置本体への装着により、前記第 2 回転位置において前記接離機構に対して退避した退避位置から前記接離機構に対する連結位置へ前記付勢部材の付勢力に対抗して押される請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

**【請求項 4】**

前記連結部材に設けられ、前記連結部材の正転及び逆転の操作を行うための操作部と、

前記操作部に設けられ、前記収容容器の前記装置本体への装着状態において前記連結部材が前記第 1 回転位置に正転されると、前記収容容器の取り外し方向への移動を規制する規制部と、

を備える請求項 3 に記載の画像形成装置。

**【請求項 5】**

前記装置本体に対して開閉可能に設けられ、前記装置本体へ装着された状態の前記収容容器を覆い、前記連結部材が前記第 2 回転位置に位置する場合に前記装置本体に対する閉鎖が規制される開閉部を備える請求項 3 又は 4 に記載の画像形成装置。